

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	02 04 06	中期総合計画主要施策番号		担当課	部・課	企画部 交通政策課	
事業名	新総合交通ビジョン策定事業			内線	3734		
				E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H23	～	H24	根拠法令等			
実施方法	県が直接実施					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	社会・経済情勢の変化や県内交通を取り巻く課題、リニア中央新幹線の具体化等を踏まえ、総合的な交通ネットワークの形成に向けた県の交通施策の方向性を示す指針として、新たな総合交通ビジョンを策定する。				
	対象	県民				
	目指すべき姿	平成25年度から39年度頃までの概ね15年後を目標とした、県の総合計画を補完する分野別計画指針を策定し、総合的な交通ネットワークの形成に向けた施策を推進する。				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新総合交通ビジョン検討委員会等の開催 ・県民向けアンケート調査等、各種分析調査の実施 ・県民への普及啓発 				

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 報償費 508千円 旅費 427千円 役務費 80千円 委託料 13,905千円(委託先:パシフィックコンサルタンツ株)
	最終予算額 (A)	千円		14,123	7,486	
	決算額 (B)	千円		14,080		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円		8,188	7,486	
	概算人件費	人		0.90	0.90	
	概算人件費 (C)	千円	0	7,432	7,432	
概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	0	21,512	14,918		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・緊急雇用創出基金による委託事業として、交通意識調査を実施した。(回収数:県民4,138人、県内企業265社、県外企業105社) ・委託事業により、交通に関する動向や社会・経済情勢の調査・分析を行った。 (効率指標) (会議開催が中心の事業であり、単位当たりコストを算出する必要がないため記載しない)
	検討委員会(意見交換会)の開催(活)	回		5	10	
	<効率指標(単位当たりコスト等)>					

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価		評価区分 b 期待どおり
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな総合交通ビジョンを策定するため、有識者等による検討委員会を開催。 ・交通に関する現状把握、将来予測を図るため、委託事業による県民向けアンケート調査等の各種分析調査を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・新たな総合交通ビジョンを策定するにあたり、検討委員会による市町村長等との意見交換会を広域連合単位で4地区で実施し、リニア中央新幹線に対する期待と、今後も地域公共交通の維持存続が必要であるという課題を市町村と確認することができた。 ・また、検討委員会の委員と市町村長等との議論を踏まえ、新たな知見を得ることができた。 ・緊急雇用創出基金による県民向けアンケート調査を実施し、この種のアンケート調査としては高い回収率(57%)で交通に関する意識調査を行うことができた。 ・また、アンケート調査を実施することにより、県民への公共交通等に関する意識の向上に繋げることができた。 		

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・市町村長等との意見交換会を通じ、新たな総合交通ビジョンの策定に対するニーズが高いことを改めて認識した。 ・広域的な交通体系の整備については、市町村単位ではなく県の責務で取り組む必要がある。 ・2ヵ年に亘り策定する継続事業であるため、現時点での事業改善の余地はない。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	引き続き、市町村長や交通事業者との意見交換会等を通じ、地域の実情を的確に把握し、策定を進めていく。
	特記事項	県の交通施策の方向性を示す指針となる「長野県新総合交通ビジョン」を平成24年度に策定予定